

大空に

輪島市立東陽中学校(第11号)
令和8年2月27日(金)
校訓「自主」「忍耐」「友愛」「健康」
ホームページにもアップしています⇒



春の気配…



「ホ〜〜〜ホケキョ」

先日、鶯(うぐいす)の初音を聴きました。例年、初音はたどたどしく、日が経つにつれて美しく驚らしい鳴き声に変わっていきます。しかし、先日聴いた鳴き声は、実に見事な「ホ〜〜〜ホケキョ」でした。「もしかすると、初音ではなかったのかも」と思いました。慌ただしく日々を過ごし、ゆっくりと外(自然)の気配を感じる心の余裕がなかったただけなのかも、と。

気が付けば、3月。3年生にとっては、進路決定に向け、大詰めの大切な時です。最後の瞬間まで精一杯の努力を惜しまず、時間を有効に使ってほしいと願う一方で、疲れた時には、好きな本を読んだり、自然に触れたり等、上手にリフレッシュしながら過ごしてほしいなども願っています。1・2年生の3人は、それぞれの学年のまとめをしながら、2週間後の「卒業証書授与式」の準備を、心を込めて進めています。先日、ご支援いただき、桜の苗木をポットに植えたのですが、3年生の分もあわせて8本の桜を植えてくれ、放課後には、水やりもしてくれています。この春、いくつか咲く花もあるとききました。どんな花を咲かせてくれるのか、その日が今からとても楽しみです。

校長 柿本 二美代



東陽中生・2月の授業の様子から…



1・2年生 合同英語：2月13日(金)

1年生は「My Hero」、2年生は「おすすめの世界遺産」について発表しました。1年生が尊敬するユーチューバーについて発表すると、2年生からはいろいろな質問があがりました。2年生は、世界遺産の写真を見せながら、その特徴や見どころなどを紹介しました。1年生にとって難しい言葉や表現もありましたが、わかりやすいように説明を加えてくれました。ALTの先生からの質問に、緊張しながらもみんな英語で答えましたね。これからも英語で発信する力を付けていきましょう。



3年生 家庭科：2月20日(金)

「まちの保育園」を訪問し、家庭科の授業で作ったおもちゃを園児のみなさんにプレゼントしてきました。初めはお互いに緊張していましたが、だんだん慣れてくるととても楽しい時間を過ごすことができました。小さな相手の気持ちを考えて、声をかけたり、一緒に遊んだりする姿が、中学生らしく頼もしく見えました。おもちゃで新しい遊び方を考えて楽しく遊んでいる園児の姿から、生徒たちにとっては新しい学びがあったようです。同じ校舎にいるのでまた遊べるといいですね！



- ・おもちゃの使い方を教えてあげたり、おもちゃを使ってキャッチをし合ったりできた。緊張して、幼児に敬語を使っていた。
- ・目線を合わせたり、3人の中でも、一人一人ふれあい方を変えたりすることができた。
- ・まだ話せない子が多くて話せなかったけど、最初は緊張していた子と最後には仲良くなることができた。
- ・ポンポンボールの投げ合いや自分が作ったおもちゃの説明ができた。幼児は表情豊かで、新しい遊び方も見つけていた。
- ・幼児と触れ合うことができたし、ポンポンで楽しく遊ぶことができた。目線を下げて遊ぶことができた。
- ・時間が短かったということもあったが、緊張してガチガチの子と心を通わせることが難しかった。

「新たな生き方」について 講師：もとやスーパー社長 本谷 一知 氏



2月19日(木)に、地元 町野町で唯一のスーパーを営む本谷 一知氏をゲストティーチャーにお招きし、令和6年の能登半島地震、奥能登豪雨という2度の災害から再起した経験とこれまでの歩み、そして、現在、本谷さんが描いている今後のビジョン等についてお話しいただきました。

地域が抱える課題や現状を知り、生徒たちはこれからどのように地域と関わっていくべきかを改めて考えていました。地域のためにスーパーを守り続けてきた本谷さんの思いや努力を知り、生徒にとっても将来を考える特別な時間となりました。

振り返り 私は、今まで、もとやスーパーは当たり前にとずっとあるものだと思っていました。しかし、地震や豪雨があって、厳しい状況になっていたけど、支援をもらって今も店を開け続けられているのだと知って、本谷さんは店が浸水してしまっても、また同じ場所で店を開くという決断ができるのはすごいなと思いました。私がやりたいことと、周りが望むことが一致する、自分が好きなことを見つけて、地域や社会の人の役に立っていきたいと思いました。

振り返り 本谷さんがこの町にたった1つの店を、今後このようにしたいという想像力と願い、夢がすごかったし、それに向けての努力と一生懸命頑張っているということが、行動とスライドからすごく伝わってきました。また、地震や豪雨についても詳しく伝えてくださり、僕は、「地震、でかかったな～」などと思っていたけれど、本谷さんのおかげで、どのように発生してどのようなことになったのかというのがわかりやすかったです。本当にありがとうございました。

振り返り 災害を2回も経験し、僕も同じようなことになっていたら、もうスーパーをやめて他の安全なところで(仕事を)しようと思うと思います。けれど、本谷さんは地震にも負けずに営業をして、能登半島豪雨でうつになっても「自分は」みたいな感じで頑張っているのがすごいと思いました。そして、70日で復活できているのは、いろいろな人のおかげ等とおっしゃっていて、自分は本谷さんみたいに優しい人になりたいと思いました。

振り返り 何度か挫折したことによって学んだことや心のもちょうなどを聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。周りから否定されても一度決めたことを貫き通す姿は、見ていて、誰にでもできることではないし、とてもたくましいと思いました。

本谷様、貴重なお話をおきかせいただき、また、生徒の質問にも丁寧にお答えいただきありがとうございました。

振り返り まず、地震の後にお店を一日からずっと続けていたことがすごいと思ったし、大雨でもうできそうにない状況になっても、地域の人のため、もとやさんの家族のためにお店を続けることができるのが、それだけ強い意志があるんだと思った。支援してもらっていても大変なことが多いとわかった。周りの人にマイナスなことを言われても、明るい顔をして、自分の決めたことを信じて動かないのがかっこいいし、それだけ地元への愛が強いんだと感じた。

振り返り もとやスーパーが町野唯一のスーパーだから、営業し続けないと住民の人が困る、町野に恩返しをしたいという気持ちで地震後すぐに営業再開したことや、「もとやベース」という構想を立て、どんどん地域貢献している姿がとてもすごいと思った。能登は半島で復興しにくいことや人口が減少し続けている等、課題はたくさんあるけど、自分にできることから積み重ね、将来は町野、輪島に貢献していきたいと思った。

振り返り 今まで、もとやスーパーが営業していることに対して何も思っていなかったけど、ボランティアの人のおかげだったり、本谷さんの頑張りだったり、いろんなことの積み重ねで、今のもとやスーパーがあるということがわかりました。「MOTOYA BASE」が完成するのが楽しみです。

振り返り 私が本谷さんの話を聞いて感じたことは、地震や豪雨があっても不安や心配なことがあっても前を向いて明るい姿で人と接しているということです。また、前を向く時に「自分がどんなお店をもちたいのか」「どんな地域にしていきたいのか」を明確にして、目標を立てているところがすごいと思いました。お話を聞くまでは自分の周りの人だけの経験等は聞いたけど、お店の経営をしている人から見える視点や考えについて知ったことで、新しい考えや思いについて考えることができよかったです。

～3月の行事予定～

- 1日(日) 英語検定2次
- 3日(火) 「出張校内カフェ」
- 10日(火) 公立高校学力検査(1日目)
- 11日(水) 公立高校学力検査(2日目)
- 12日(木) 卒業式予行練習
- 13日(金) 第16回卒業証書授与式



- 18日(水) 公立高校合格発表
(1・2年生振替休業日 3/21分)
- 21日(土) 「町野小・東陽中 閉校記念イベント」
- 24日(火) 3学期終業式・修了式・離任式
町野小・東陽中「閉校式」

